

New-building **R**eport

柔軟な発想で、変形敷地を逆手に取って個性に 大屋根のデザインも楽しい 十勝の家

3

1

5

4

2

- 1.三角屋根の形状を生かした天井にはバイン材を張り、色は少し濃い目のトーンで。
- 2.ストーンタイルを張ることで単調なイメージを払拭した外観。右側の大屋根の建物がリビング。
- 3.ダイニングは80×80センチの造作の箱を並べた小上がりの形態。箱は収納としても利用できる。
- 4.奥さんの身長に合わせて、高めに設定した対面キッチン。窓外には、クレソンも自生する美しいヌック川が見える。
- 5.クローゼットを隣に設け、ゆったりとした空間の寝室。



磁器タイルを使用した玄関

02

●帯広市・Sさん宅

家族構成/夫婦30代
設計/岡本一級建築士事務所
施工/(株)岡本建設
TEL 0155-54-2733

三角形の敷地という理由から、どこに話を持ちかけても難色を示されたSさん。上がってきた幾通りかのプランも土地が有効に使われておらず、納得できないものばかり。どうしたものかと困り果てていたときに岡本建設と出会いました。そして、同社から提案されたのが、三角の大屋根を組み合わせた多角形のリビング。Sさんは、その発想に新鮮な驚きを感じ「ココに頼もう」と決めたのだそうです。

南に面したリビングからは、花や野菜を植えて楽しんでいるのが家の庭が眺められます。また、ダイニングの小上がりは、造作の箱を組み合わせたもので、移動も可能。ご飯を食べながら川辺の緑を楽しむこともできます。さらに2階にはシアタールームも。ご近所に迷惑をかけないよう、遮音シートを施しています。

「夫婦2人とも背が高いので、取っ手の位置を通常より高くしてもらおうなど、岡本さんは細かい部分まで対応してくれました」とSさん。四角に収まる家ではない分、思いがけないスペースが生まれましたが、食品庫にしたり、家事コーナーを造作するなど上手に活用。「木を多く使い、塗り壁で」という希望に対しては、壁の塗り方を場所によって変え、変化をつけています。そのほか、洗面所の壁一面に造作収納を設けるなど、適材適所のスペース配分でたっぷりの収納が確保され、奥さんも「家の中が片づいて助かります」と納得。入念な打ち合わせが功を奏し、結婚10年目の記念にふさわしい家づくりになったそうです。

DATA

構造規模/木造・2階建て、延床面積/182.77㎡(約55坪)、<主な外部仕上げ>屋根/ファイバーステップル、外壁/窯業系サイディング テラコート仕上 一部ストーンタイル、建具/玄関ドア:YKK断熱ドア ヴェナート、窓:トステムマイスターII(日本板ガラス マルチスーパーグリーン)、<主な内部仕上げ>床/フロー、壁・天井/コンパウンド仕上、<断熱仕様>床下:ブローイング235mm、壁/グラスウールハイアール16kg140mm、天井/ブローイング400mm、<暖房方式>オール電化(蓄熱暖房)

●工事期間/平成17年11月~18年7月(約8ヵ月)(冬期間休み3ヵ月)



極上のくつろぎの時間を満喫するシアタールーム。



▲施工エリア

(株)岡本建設

▼お問い合わせ

TEL 0155-54-2733

中川郡幕別町緑町40番地32
http://www.okamoto-kensetsu.co.jp/
E-mail:info@okamoto-kensetsu.co.jp

とじ込みハガキ **4** をご利用ください